

AIでつなぐ スマートエイジングシティ



【地域資源・エネルギーチーム】

メンバー：加藤敏浩・鈴木英司・近田正晴・中林那由多

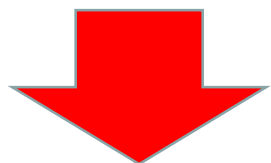
もくじ

1. 現状の把握（課題認識）
2. 20年後に向けての提言の概要
3. 提案の内容
4. 提案実現のための具体的な
取り組み（アクションプラン）と
実現可能性
5. 波及効果

1. 現状の把握（課題認識）

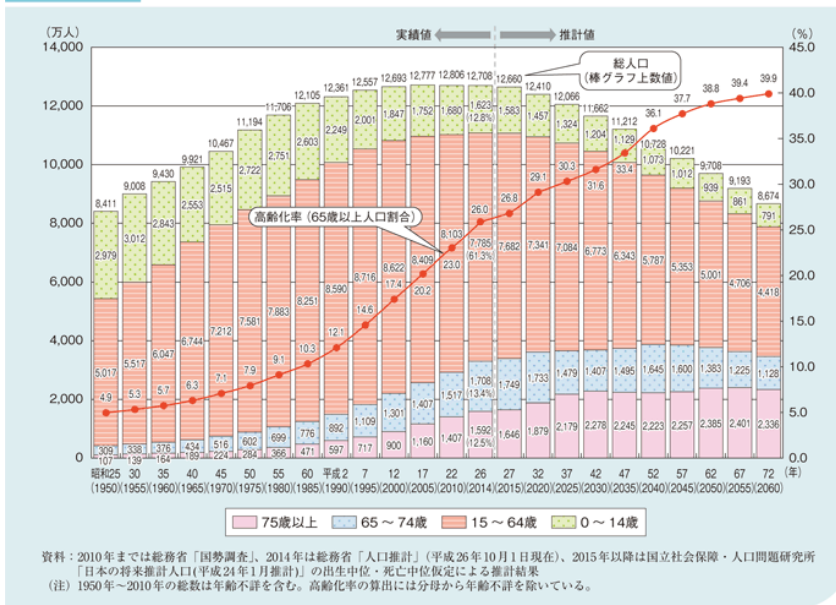
現状の把握（課題認識）

- 高齢人口割合の増加
- 単身世帯の増加
- 無縁社会問題
- 所有者不明等 相続問題



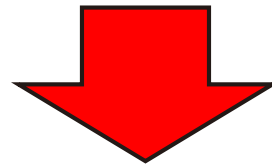
- 財政負担の増加
- 税収低下
- 虫食い街区の増加

図1-1-2 高齢化の推移と将来推計



先行事例に学ぶ着目点

- 大阪市：「スマートエイジング・シティ」の提案
 - 高齢者を対象としたヘルスケアサービスに重点
- 知多半島5市5町：地域成年後見センターによる法人後見
 - 認知症高齢者の身上、財産の保護が目的
- 厚生労働省：認知症患者の支援スキームの提案
 - 具体策の検討は今後課題



～私たちの着目点～

- **収益源確保**と**行政の主導**より、上記の例で不足する点を補い、魅力ある地域社会を実現する

2. 20年後に向けての提言の概要

20年後に向けての提言

- AIの技術を用いて、高齢者が住み慣れた地域で安心・快適に住み続けられ、次世代に跡を継ぐスマートエイジングシティを構築

【キーワード】

- ・ 行政の主導による資産の円滑な継承支援
- ・ AIで健康寿命の延伸と医療費削減
- ・ 事業収入による財政負担軽減
- ・ 新たな住民が安心して流入できる街づくり



3. 提案の内容

スマートエイジングシティの構成要素

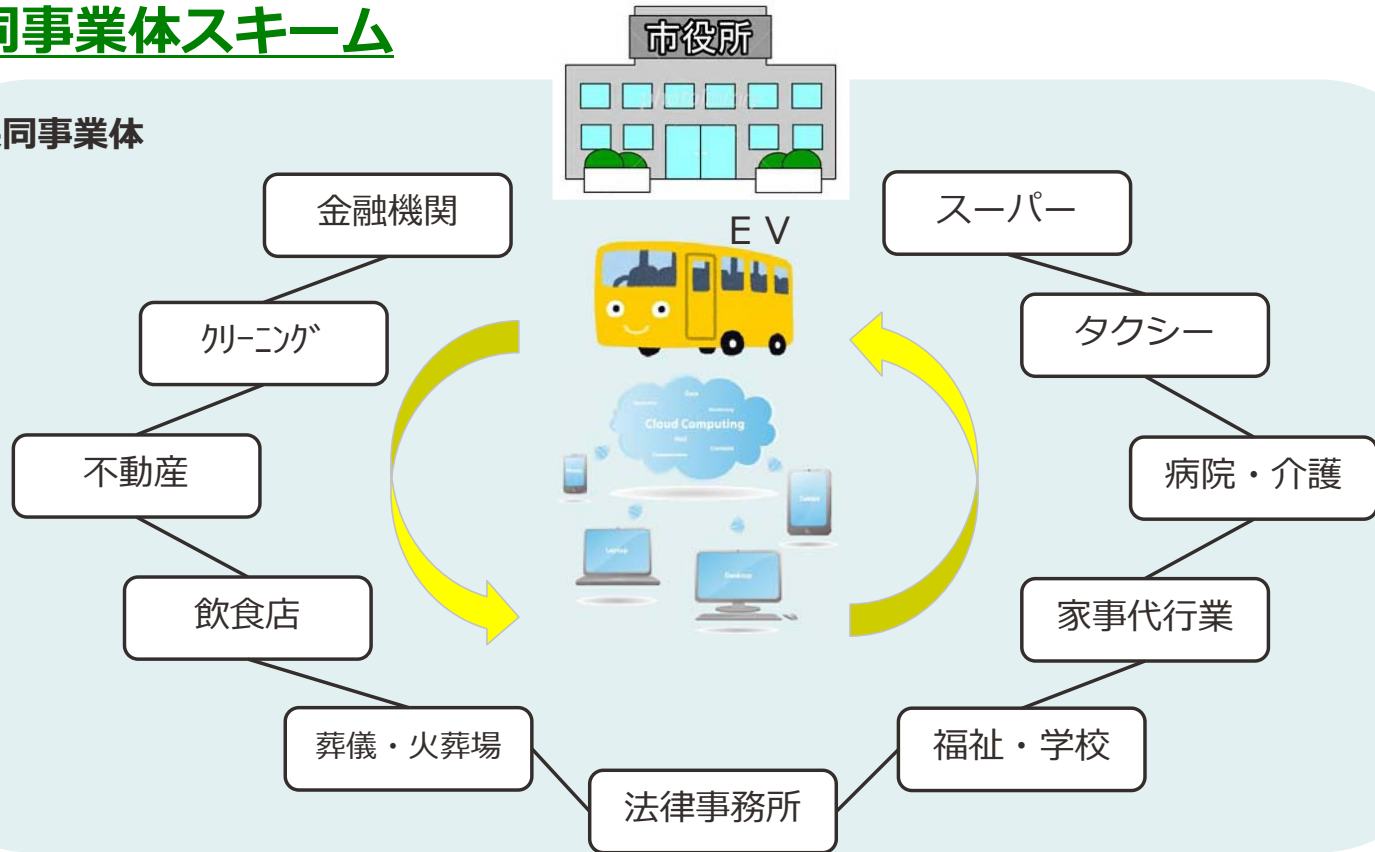
1. 公益社団法人による相続と保証の関与
2. 共同事業体による日常生活サービスの提供
3. 地域における医療ビッグデータの収集と活用
4. 自治体主導による共同事業体の監督

AIとICT技術で上記を実現

収益源の確保と行政主導の概要は次の図で👉

共同事業体スキーム

共同事業体



サービス提供



4. 提案実現のための具体的な 取り組み（アクションプラン） と実現可能性

1. 公益社団法人による相続と保証の関与

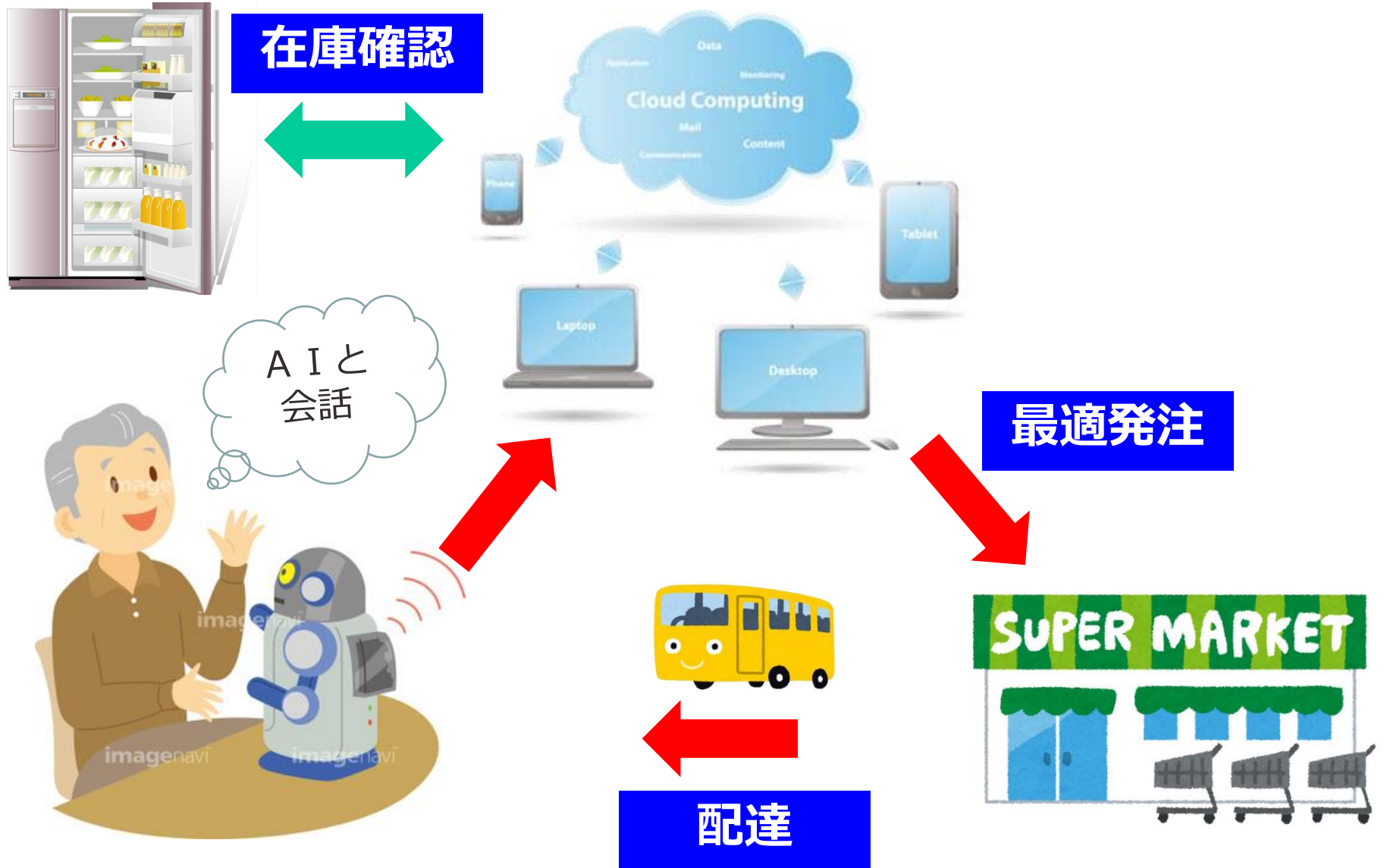
- **公益社団法人に対する愛知県の業務監査**
- 地方銀行との連携による生前の預金・年金管理
- 高齢者の不動産賃貸時の保証
- 生前の不動産処分
- 遺言信託による遺産処分の早期準備
- マイナンバーの活用等により、家族・遺族への連絡
- 任意後見契約の受諾
- 法人後見制度の受け皿
- 葬送契約

2. 共同事業体による日常生活サービスの提供

- **A I による多目的・ルートレスのバスの運行**
 - ◆ **ウェアラブル機器によるサービス発注**
 - ◆ **IoT家電による必要サービスのマネジメント**
 - ◆ オンデマンドニーズへの柔軟な対応と最適運用
 - ◆ クリーニング、食事の集荷
- 再生可能エネルギーによる電気活用

スピードは求めない

食料品の発注



3. 地域における医療ビッグデータの活用

- **ウェアラブル機器による個人健康データの収集**
- **地域内ビッグデータ解析による疾病の予防**
- インフルエンザ等の流行病の早期予測・早期対策
- 体質に合わせた薬品の処方
- 適正診療による医療費の削減
- データによる病巣の早期発見
- 介護認定者の行動パターンより適正なヘルパー等配置

認知症の早期発見

病気検知



AIと
会話



自動連絡



診察



4. 自治体主導による共同事業体の監督

- 地域企業のとりまとめ
 - ◆ 企業の規模にとらわれない公平な事業活動の促進
 - ◆ 一括データ処理等による事務処理負担の軽減

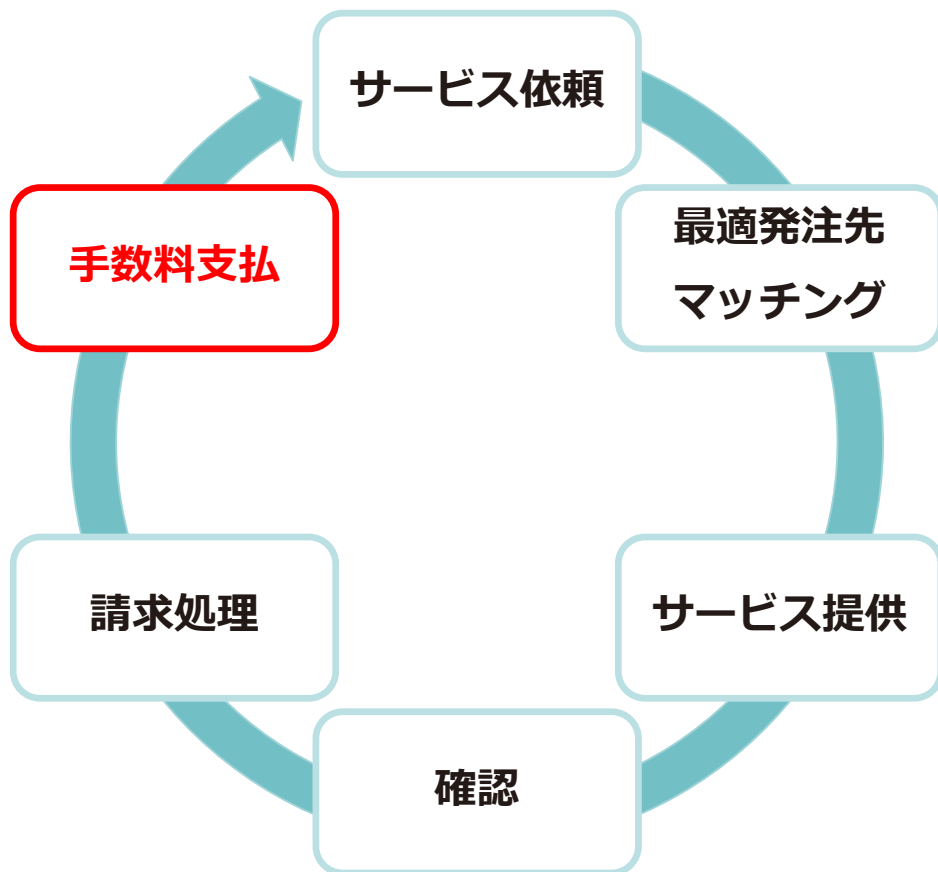
- 個人情報取り扱いに対する住民の安心・安全
 - ◆ 地域行政による、顔が見える支援サービス
 - ◆ 災害時の迅速な個人への支援サービス



共同事業体設立の流れ



サービス提供の流れ

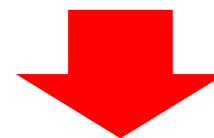


事業体の収益

：日進市規模の場合

(事業所数 2,406社/平均売上 1.0億円)

$$\begin{aligned} &2,406社 \times 5\% \text{ (参加率)} \\ &\times 1.0\text{億円} \times 3\% \text{ (手数料率)} \\ &= \mathbf{3.6\text{億円/年}} \end{aligned}$$



- ・新たなサービスの提供
- ・設備投資
- ・行政の財政負担の低減

5. 波及効果

住みやすい街にリニア効果で住民が増加

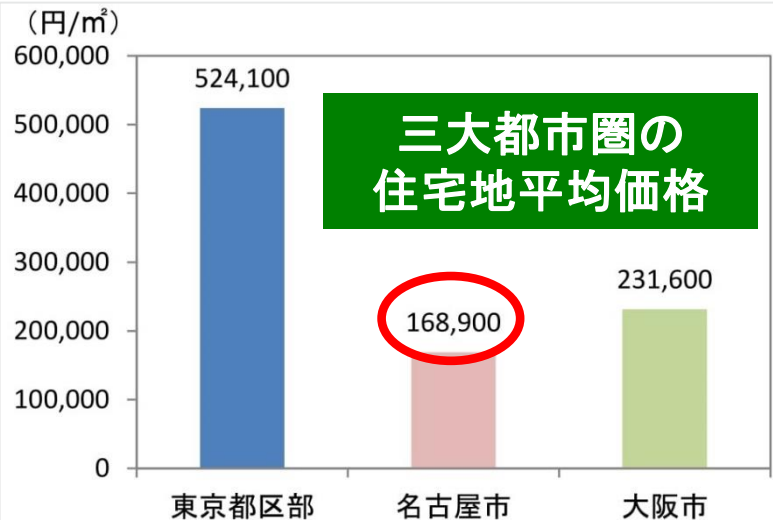
(2050年人口)



リニア開業による 2時間圏内人口の変化

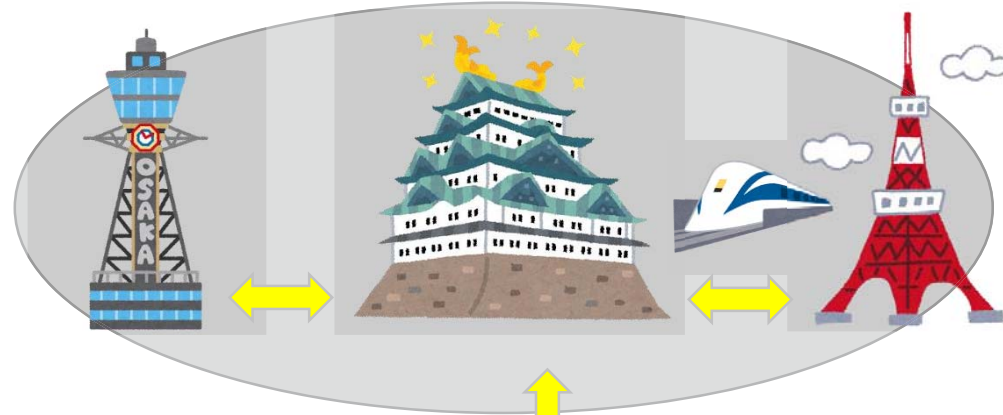
	(万人)	現状	大阪開業
品川起点		3,397	5,102
名古屋起点		2,421	5,286
大阪起点		2,311	3,927

国土交通省中部地方整備局2016
(出典:三菱UFJリサーチ&コンサルティング)



三大都市圏の 住宅地平均価格

国土交通省中部地方整備局2016
(出典:地価公示(H28))



**住みやすい街
(通勤時間・地価等)
に人が集まる!**



AIで新たなコミュニティの形成



各コミュニティ等へ紹介・形成



ご清聴ありがとうございました

2013年総支出額（総額）

単位：億円

都市名	地域住民・ 企業ベース総支出	地域内ベース 総支出	地域内収支	地域内収支率	事業所数	事業所数単位 売上見込
名古屋市	96,004	119,324	23,320	124.3%		
豊田市	27,308	35,336	8,028	129.4%		
岡崎市	16,496	14,365	-2,131	87.1%	14,453	1.0
豊橋市	14,816	13,516	-1,300	91.2%		
一宮市	12,892	9,725	-3,167	75.4%	16,243	0.6
春日井市	11,281	9,496	-1,785	84.2%	10,771	0.9
安城市	8,543	9,610	1,067	112.5%		
西尾市	7,630	7,373	-257	96.6%		
豊川市	7,008	6,326	-682	90.3%		
刈谷市	6,906	8,642	1,736	125.1%		
小牧市	6,188	8,203	2,015	132.6%		
稲沢市	5,131	4,895	-236	95.4%		
田原市	4,968	6,164	1,196	124.1%		
半田市	4,894	5,405	511	110.4%		
瀬戸市	4,802	3,982	-820	82.9%	4,994	0.8
東海市	4,790	6,864	2,074	143.3%		
碧南市	3,589	4,101	512	114.3%		
大府市	3,510	3,208	-302	91.4%		
江南市	3,350	2,224	-1,126	66.4%	3,536	0.6
みよし市	3,270	4,480	1,210	137.0%		
日進市	3,206	2,331	-875	72.7%	2,406	1.0